

おのまち夢企画提案コーナー

「廃校小学校等の有効利用、活性化づくり」

提案の内容

①提案のねらい

廃校をチャレンジオフィスなどとして、起業者に貸し出し、公共施設の有効利用と小野町でのビジネス想起を後押しし、起業のあっせんをする。

<メリット>

「個人」

- ・在宅からチャレンジオフィスに変わることにより、趣味などの感覚から「仕事」としてのビジネス思考を想起。また、チャレンジする方のつながりなどから、新たなビジネス案やアイデアの想起、工夫が期待できる。

「小野町」

- ・企業の誘致のほかに、新たな起業を促進できる可能性があり、将来の就職口の確保や新たな職業の発掘、ひいては町の財務体質に改善の変化を及ぼせる可能性がある。
- ・町の独自性を想起させるほか、町おこしにできる可能性がある。

②具体的な実施方法

- ・対象者は老若男女、職業を問わない。
- ・施設使用料は無料、パソコン、電気代などの経費は町負担とする。

③その他

- ・チャレンジショップから起業、法人化した方が以外と多く、インターネットの普及により、ネットビジネス化させた方もいる。

取っ掛かりの機会、場所がない問題、また、ビジネスになるか不確実性に対するスタート費用の不安の問題を解決できることを狙う。

対応の内容

この度は、おのまち夢企画にご提案いただき、誠にありがとうございました。

町内には、廃校となった雁股田分校、夏井第二小学校、小戸神小学校の校舎・体育館などの施設があります。雁股田分校については、現在公民館の分館として使用していますが、そのほかの施設につきましては、現在のところ新たな用途などは決まっていません。公共施設の有効利用という面からも、地元行政区の皆さんをはじめとする関係者の方々と十分な協議を行い、できるだけ早い時期に活用方法を決定したいと考えています。

廃校をチャレンジオフィスなどとして活用するとの「夢企画」ですが、とてもユニークで斬新な発想だと思います。廃校の利用について、現実的などの様なニーズがあるのか、また施設をどの様な方法で利用させるべきかなど、いろいろな観点から真剣に検討していきたいと思えます。

今後は、施設利用について多角的に検討を加え、利活用を推進する考えですので、ご提案いただきました「夢企画」につきましては、活用方法の一つとして具体的な可能性を検討します。貴重なご提案ありがとうございました。

おのまち夢企画提案は、自分自身の描く小野町への「夢」や「想い」を自由に提案できる制度です。これまでも貴重な企画・提案が寄せられています。皆さんもぜひ、この機会に提案してみませんか？提案には必ず名前を書いてください。（匿名での提案は受け付けできません）提案された方への内容の確認や回答のために必要な情報です。名前のほかにも、住所、年齢、性別、連絡先を記入してください。記入された個人情報はこの目的以外には使用しません。

☎企画商工課 72-6939 FAX 71-1037
E-mail kikakusyoukouka@town.ono.fukushima.jp

おいしいー！

ミネラル野菜

今年も、子どもたちに町内で生産されたおいしいミネラル野菜を食べてもらうため、JAたむら小野支部ミネラル野菜部会（藤井崇部会長）の皆さんからのご厚意で町内の小中学校に給食食材として新鮮なエダマメ、トマト、サイインゲンの提供がありました。

給食を食べた児童からは、「甘くておいしい」「苦手な野菜もおいしく食べられた」「また食べたい」などの声が聞かれ大好評でした。猛暑の中、大変な苦勞をして育てた野菜を提供してくださった生産者の皆さんに紙上より感謝申し上げます。



野菜っておいしいね